



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 栗林商船株式会社  
 コード番号 9171 URL <http://www.kuribayashishosen.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 英之  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5203-7982

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,534	△6.2	27	△94.0	31	△91.5	△265	—
23年3月期第2四半期	21,884	4.6	453	—	374	—	△49	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △391百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △928百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△21.05	—
23年3月期第2四半期	△3.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	46,178	10,271	15.9
23年3月期	47,772	10,732	16.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,368百万円 23年3月期 7,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△5.1	400	△63.7	300	△67.0	100	—	7.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,739,696株	23年3月期	12,739,696株
24年3月期2Q	137,299株	23年3月期	136,682株
24年3月期2Q	12,602,661株	23年3月期2Q	12,554,413株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
5. 補足情報 .....	12
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により大幅に落ち込んだ生産や輸出が徐々に回復し、大震災前の水準に戻る傾向にありましたが、海外経済の大減速や金融不安、さらには記録的な円高の進行により回復ペースは大幅に鈍化いたしました。今後の見通しも欧州の債務危機や米国の景気低迷の長期化により経済回復は難しくなりつつあります。

こうした経済情勢の中、当社グループも東日本大震災の影響を大きく受けましたが、仙台地区で当初の予想を上回る回復があり、更に船舶の効率的な運航に努めた結果、収益減少を最少に止めることが出来ました。ホテル事業においては、大震災の影響で海外客のキャンセルが相次ぎ、国内客も旅行の自粛傾向が強まり苦戦いたしました。不動産事業は概ね順調に推移しております。

#### 「海運事業」

前第2四半期連結累計期間に比べると東日本大震災による仙台地区の収益の大きな落ち込みはありましたが、当初予想を大きく上回る回復であり、更に航路の変更等効率的な運航に努めた結果、燃料油価格の上昇に伴う輸送コスト増はあったものの、売上高は前第2四半期連結累計期間比1,246百万円減(6.0%減)の19,363百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間比828百万円減(4.1%減)の19,422百万円となったことから、営業損益は前第2四半期連結累計期間比417百万円悪化の営業損失59百万円となりました。

#### 「ホテル事業」

前第2四半期連結累計期間に比べると特に当第1四半期は福島原発の風評被害により、海外旅行客が殆ど訪れず、国内観光客数も自粛により減少となり、全社的に危機感を持って営業体制の建て直しを行いました。これにより売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて106百万円減(10.9%減)の872百万円となり、営業費用はコスト削減に努めた結果、前第2四半期連結累計期間に比べ97百万円減(9.8%減)の898百万円となり営業損失は前第2四半期連結累計期間に比べ9百万円悪化の25百万円で終わることが出来ました。

#### 「不動産事業」

前第2四半期連結累計期間に比べると、順調に推移し、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べ2百万円増(0.9%増)の348百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間に比べ3百万円増(1.4%増)の235百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間並の112百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,534百万円(前第2四半期連結累計期間比1,350百万円減6.2%減)、営業利益は27百万円(前第2四半期連結累計期間比426百万円減94.0%減)となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報****(資産)**

流動資産は、前連結会計年度末に比べて424百万円減少の14,988百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が277百万円、現金及び預金が104百万円、未収入金が82百万円それぞれ減少し、原材料及び貯蔵品が56百万円増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1,175百万円減少の31,150百万円となりました。これは船舶が743百万円、建物及び構築物が73百万円、投資有価証券が597百万円、保険積立金が120百万円それぞれ減少し、機械装置及び運搬具が221百万円、リース資産が65百万円それぞれ増加したことによります。

**(負債)**

流動負債は前連結会計年度末に比べて174百万円減少し、18,038百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金417百万円、1年内償還予定の社債121百万円それぞれ増加したことと、1年内期限到来予定のその他の固定負債が240百万円、短期借入金413百万円、未払法人税等が128百万円それぞれ減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて959百万円減少し、17,868百万円となりました。これは長期借入金231百万円、社債128百万円、長期未払金が379百万円、役員退職慰労引当金101百万円、繰延税金負債150百万円それぞれ減少し、リース債務76百万円増加したことによります。

**(純資産)**

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて460百万円減少し、10,271百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金188百万円、利益剰余金328百万円それぞれ減少したことによります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

当社の第2四半期連結累計期間の業績は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、仙台地区の連結子会社の業績が大きく落ち込むものとして期初に計画した業績予想を急速な回復により改善することが出来ました。第2四半期個別累計期間の業績も震災後の運航効率に努めた結果、大幅に業績改善を達成出来ました。東証株価の低迷による金融機関等の株式評価損の発生はありましたが、このことも含めて平成23年11月4日、業績予想数値の修正を行っております。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,854,348	5,749,723
受取手形及び売掛金	8,533,278	8,256,097
商品及び製品	27,746	28,369
原材料及び貯蔵品	324,776	381,147
繰延税金資産	139,282	153,413
未収入金	186,005	103,798
その他	354,784	321,962
貸倒引当金	△6,713	△5,997
流動資産合計	15,413,509	14,988,515
固定資産		
有形固定資産		
船舶	20,776,104	20,798,019
減価償却累計額	△11,793,335	△12,558,330
船舶(純額)	8,982,769	8,239,688
建物及び構築物	19,828,433	19,720,471
減価償却累計額	△14,578,683	△14,544,007
建物及び構築物(純額)	5,249,750	5,176,463
機械装置及び運搬具	6,735,540	7,142,928
減価償却累計額	△6,105,099	△6,290,636
機械装置及び運搬具(純額)	630,441	852,292
土地	7,478,920	7,478,920
リース資産	299,361	397,823
減価償却累計額	△91,010	△124,322
リース資産(純額)	208,350	273,500
建設仮勘定	—	15,771
その他	1,473,252	1,413,661
減価償却累計額	△1,317,042	△1,250,570
その他(純額)	156,209	163,090
有形固定資産合計	22,706,441	22,199,727
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	93,612	84,714
のれん	317,365	306,576
その他	20,193	54,266
無形固定資産合計	1,464,429	1,478,815
投資その他の資産		
投資有価証券	6,379,865	5,782,429
長期貸付金	10,261	9,914
繰延税金資産	601,377	635,925
保険積立金	684,142	563,987
その他	523,496	521,821
貸倒引当金	△44,134	△41,862
投資その他の資産合計	8,155,009	7,472,217
固定資産合計	32,325,880	31,150,759
繰延資産		
社債発行費	32,963	38,755
繰延資産合計	32,963	38,755
資産合計	47,772,353	46,178,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,721,907	5,778,461
短期借入金	6,300,001	5,886,080
1年内返済予定の長期借入金	2,096,416	2,514,389
1年内期限到来予定のその他の固定負債	1,120,659	880,429
1年内償還予定の社債	1,225,831	1,347,600
リース債務	64,175	91,998
未払法人税等	179,273	50,638
賞与引当金	279,923	285,549
災害損失引当金	470,695	152,190
その他	753,401	1,050,712
流動負債合計	18,212,285	18,038,049
固定負債		
社債	2,240,300	2,111,500
長期借入金	7,600,327	7,368,493
長期末払金	3,959,605	3,580,201
リース債務	158,749	235,086
繰延税金負債	1,082,344	931,874
退職給付引当金	1,823,451	1,824,349
役員退職慰労引当金	703,322	602,024
負ののれん	1,007,304	966,759
その他	252,552	247,808
固定負債合計	18,827,955	17,868,097
負債合計	37,040,241	35,906,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	893,800	893,800
利益剰余金	5,054,627	4,726,369
自己株式	△36,172	△36,280
株主資本合計	7,127,290	6,798,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	777,394	588,742
繰延ヘッジ損益	△28,889	△24,227
その他の包括利益累計額合計	748,505	564,514
少数株主持分	2,856,315	2,908,444
純資産合計	10,732,111	10,271,883
負債純資産合計	47,772,353	46,178,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,884,804	20,534,224
売上原価	18,388,053	17,679,181
売上総利益	3,496,751	2,855,042
販売費及び一般管理費	3,043,017	2,828,006
営業利益	453,733	27,035
営業外収益		
受取利息	1,132	745
受取配当金	110,711	100,130
助成金収入	16,735	56,214
負ののれん償却額	60,083	40,544
その他営業外収益	26,808	71,845
営業外収益合計	215,472	269,481
営業外費用		
支払利息	253,292	217,482
その他営業外費用	41,553	47,385
営業外費用合計	294,846	264,868
経常利益	374,359	31,649
特別利益		
固定資産処分益	11,665	742
保険解約返戻金	5,605	60,401
補助金収入	12,600	—
災害支援金	—	93,860
その他特別利益	5	638
特別利益合計	29,877	155,642
特別損失		
固定資産処分損	2,698	6,650
投資有価証券評価損	7,843	272,429
役員退職慰労金	1,100	108,201
早期割増退職金	39,414	—
和解金	87,566	—
その他特別損失	12,479	9,693
特別損失合計	151,102	396,975
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	253,134	△209,682
法人税、住民税及び事業税	221,484	53,068
法人税等調整額	18,375	△64,110
法人税等合計	239,859	△11,041
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	13,274	△198,641
少数株主利益	62,379	66,602
四半期純損失(△)	△49,104	△265,243

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,274	△198,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△944,947	△198,358
繰延ヘッジ損益	3,161	5,719
その他の包括利益合計	△941,785	△192,638
四半期包括利益	△928,511	△391,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△963,721	△449,234
少数株主に係る四半期包括利益	35,210	57,954

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	253,134	△209,682
減価償却費	1,344,498	1,252,661
のれん償却額	11,188	10,788
負ののれん償却額	△60,083	△40,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,396	△2,987
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,235	5,625
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△114,345	898
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,377	△101,297
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△318,504
受取利息及び受取配当金	△111,844	△100,876
支払利息	253,292	217,482
固定資産処分損益(△は益)	△8,967	5,908
投資有価証券評価損益(△は益)	7,843	272,429
早期割増退職金	39,414	—
補助金収入	△12,600	—
和解金	87,566	—
災害支援金	—	△93,860
売上債権の増減額(△は増加)	△508,502	278,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,935	△56,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,519	50,729
その他	105,410	28,969
小計	1,188,560	1,199,541
利息及び配当金の受取額	111,844	100,876
利息の支払額	△243,630	△211,331
法人税等の支払額	△272,005	△78,818
補助金の受取額	12,600	—
災害支援金の受取額	—	93,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	797,367	1,104,128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△392,354	△334,027
有形固定資産の売却による収入	24,264	3,821
無形固定資産の取得による支出	△12,394	△10,920
投資有価証券の取得による支出	△93,000	△7,287
定期預金の預入による支出	△13,203	△113,201
その他	151,013	114,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335,674	△347,317

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	465,000	212,001
短期借入金の返済による支出	△790,000	△625,922
長期借入れによる収入	1,630,000	1,380,000
長期借入金の返済による支出	△1,301,567	△1,193,861
長期未払金の返済による支出	△455,728	△619,634
社債の発行による収入	585,800	585,950
社債の償還による支出	△721,833	△607,031
リース債務の返済による支出	△30,547	△36,956
自己株式の取得による支出	△96	△107
配当金の支払額	△62,578	△63,015
少数株主への配当金の支払額	△9,463	△5,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△691,014	△974,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,212	△235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230,534	△217,825
現金及び現金同等物の期首残高	5,600,450	5,753,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,369,915	5,535,444

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,609,916	979,463	295,425	21,884,804	—	21,884,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	49,636	49,636	△49,636	—
計	20,609,916	979,463	345,061	21,934,441	△49,636	21,884,804
セグメント利益又は損失(△)	358,087	△16,627	112,273	453,733	—	453,733

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,363,718	872,982	297,523	20,534,224	—	20,534,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	50,520	50,520	△50,520	—
計	19,363,718	872,982	348,044	20,584,745	△50,520	20,534,224
セグメント利益又は損失(△)	△59,132	△25,902	112,070	27,035	—	27,035

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 最近における四半期毎の業績の推移 (連結)

平成24年3月期

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月
売上高	百万円 10,119	百万円 10,415	百万円	百万円
営業利益又は営業損失(△)	△197	224		
経常利益又は経常損失(△)	△137	169		
税金等調整前四半期純損失(△)	△159	△49		
四半期純損失(△)	△145	△119		
1株当たり四半期純損失(△)	円 △11.56	円 △9.49	円	円
総資産	百万円 47,884	百万円 46,178	百万円	百万円
純資産	10,331	10,271		

平成23年3月期

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月
売上高	百万円 10,593	百万円 11,291	百万円 10,849	百万円 9,404
営業利益又は営業損失(△)	△174	628	396	250
経常利益又は経常損失(△)	△165	539	383	151
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	△178	431	388	△650
四半期純利益又は純損失(△)	△147	98	88	△376
1株当たり四半期純利益又は純損失(△)	円 △11.77	円 7.86	円 7.03	円 △29.86
総資産	百万円 50,164	百万円 49,693	百万円 49,299	百万円 47,772
純資産	11,196	11,096	11,558	10,732